

4. 手数料等に関する意見

- ・ 手数料が高い。会社が選んだ運用商品を拡大してほしい。拠出限度額はもう少し引き上げてほしいと思う。キャッシュバランス制度と併用しているが、こちらにもポータビリティの確保をしてほしい。
- ・ 金融機関等 DC に関わる業界の常識は、一般社員にとっては通用しない、理解しにくいという基本的な視点から再検討すべき(手続き・教育ツール・運用状況のお知らせ等々)。企業がさらにかみくだき、咀嚼して伝えているのが現状である。その意味で、手数料は高いと感じる。
- ・ 企業を退職すると、個人型もしくは運用指図者にならないといけませんが(転職先に制度がない場合)、そのときの手数料が個人負担となるのはつらい。
- ・ 運用商品のなかには、手数料が高いと思われるものもある。なるほど個人が店頭で商品を購入するよりは手数料は優遇されているが、金融機関の手数料設定に疑問がある(そもそも日本の投信に関する手数料は高いと思う)。
- ・ 運用商品の手数料が、一般に証券会社等で購入できる投信などと大差なく、また、料率がかかなり高いものもある。年金という性質上、手数料率を低く抑える工夫も必要ではないか。年金用商品の手数料率の上限を法定するなど。運用会社にとっては公の制度で収益を上げるのだから、料率が一定程度抑制されたとしても合理性はあると思う。
- ・ 手数料が本人負担にならなければ(会社をやめてからも)、もっと普及するのでは？

5. ポータビリティ等に関する意見

- ・ 再就職の場合のことを考え、確定拠出年金を導入している企業がもっと増加するとよい。(この項目多数)
- ・ 企業型加入者のポータビリティについて
 - 転職時、同商品でも売却必要な点と移換手数料 → 現物移換
 - 企業型資格喪失による拠出不可者の資産減少(消失)

→ 脱退一時金を加入期間に関係なく認める。または移換手数料口座管理料の無料化。

本当にどういうケースでも、自分の努力によって年金がたまる仕組みにしてほしい。

- ・ ポータビリティ性の向上や、退職した場合の手数料の問題を改善してほしい。また、現在の会社からの拠出金が少額なので、プラスアルファで本人も拠出できると運用のしがいがある。
- ・ 確定拠出年金はポータビリティがあるといわれているが、実際はどうか疑問である。別の会社に移った場合、一度解約し先方にある商品に変更しなければならない。また、個人で加入者となった場合、運営管理費用が負担となる。
- ・ 今後労働力の流動化が進むといっても、次の会社に確定拠出年金制度が導入されていないければ、意味がない(ポータビリティにも限界がある)。→ 確定拠出年金の導入会社が今後増えてくることを望む。
- ・ ポータビリティというが、転職先が導入していないければ事実上の資産凍結状態となり、とてもポータビリティがあるとはいえない。
- ・ ポータビリティの考え方は正しいが、現状は転職先企業がDC未加入の場合が多く、不便。またその際の事務手続き(個人型への移行)に対する認知度が低く、かつ煩雑であるため、対応に苦慮。
- ・ ポータビリティを充実させるため、厚生年金基金連合会経由案を実行してほしい。
- ・ 確定拠出年金制度に加入後、60歳未満で退職した後に再就職した場合、その再就職先に確定拠出年金制度が導入されていれば継続して加入できるが、北九州で確定拠出年金制度を導入している会社は少ないので、現状では、その資産が60歳までに目減りしていく可能性が強い。今後中途引出しなどもできるような制度に変更して欲しい。

6. その他の意見

- ・ 資産運用よりも、もっと目先の自己投資に頭・時間・お金を費やした方が効率がよいと思っている。
- ・ 中途脱退ができるようにした方がよい。
- ・ 特別法人税の撤廃を望む。
- ・ 詳しく理解していないのが現状であるから、投資に積極的でない。
- ・ 制度開始時点の比較的関心の高い時期に、ウェブ・サイトの使い勝手が悪く、興味を失ってしまった。
- ・ 会社が提供する制度を受け入れる状況なので、サービス面を含めて限界があることを承知している。逆に、旧来の退職金制度と比べ、金融市場の不安定さに基づく影響を受けるため、年金額の試算などがしにくく、長期に及ぶ資産面での生涯設計がしにくい点に関し、不安を感じている。
- ・ 定年退職時一時金として受け取った方が税務上有利で、税制対応ができていない。運用報告は素人でも分かるように明記してほしい。
- ・ 現在の経済状況において(円高・金利・株価など)債券や株式などどの分野で運用するのが有利なのか、ごく一般的な意見が知りたい。
- ・ 基本的に確定拠出年金は、企業と個人の双方のメリットを生かして運用する必要がある制度だが、法的に未整備・未熟な部分が多いので、将来の法改正と制度の成熟化に期待したい。
- ・ 現在の会社を退職後、個人型に移ると、損になってしまう気がしてならない。
- ・ 公務員を制度の対象外にしていることに疑問を感じた。民間や自営だけに自助努力を求める前に、共済年金の一部だけでも確定拠出年金に移行すべきだと思う。
- ・ 投資教育義務云々を企業や運営に化しているようだが、それ以前に社会制

度教育をなぜ学生時代に行わない社会システムなのかが理解できない。文部科学省と一緒に考えてほしい。

- ・ 成果主義(=自律的判断)に移行する中、DC への移行は当然。ポータビリティによる転職の可能性も高くなる(よい意味で)。中途引出しができればよりありがたいのだが。
- ・ 運用会社、記録管理会社…等、関係機関に一貫性がないため、せつかくの情報(郵便物等)が分かりにくくなってしまっている。
- ・ 本人に毎月の掛け金が拠出され、自分で運用できるので、現在いくら残高があるのかわかるのでいいと思う。ただ、60歳にならないと受給されないので、その時にはいくらになっているのか不安である。
- ・ 年金について理解不足な点があったが、勉強になった。資産運用の認識についても同様である。
- ・ 退職後、企業型確定拠出を止め、個人型の運用指図者にならざるを得ない人は脱退できるようにすべきである。15万円程度しかない人は60歳まで運用した場合、手数料支払として、資産はほとんど消えることになる。基金も脱退一時金があるのと同様に、確定拠出年金も3年以上でも脱退できるようにすべきである。

7. 加入して良かった点・悪かった点

加入してよかった点	加入して悪かった点
投資の商品や年金の仕組みの勉強になった。	
金融の世界に興味を持つきっかけになるかも…	時間とかが無駄。1,000/月ならどうでも…
金融商品に興味を持つことができ、他の資産運用も考えられるようになった。	
自己責任での資産運用ができる点	
	変動があるが、時間がなく対応できない。損している気がする。
	実際に年金として受給する際に、何もしなければこれだけだったが、DCにしたので+××円となったという事実があって、良い悪いの判断ができると思う。
経済動向に関心が持てるようになった。 意識して老後の資金を確保するようになった。	
拠出金の運用が常に自身で確認できること。	
資産運用・管理等に興味を持つようになった。	受給があまりに先の話になるので、実感・真剣身味に欠ける面がある。
自己責任による資産運用の意識が高まった。	
経済について関心が高まった。	金融機関の悪いところが目につくようになった (ex. スイッチング期間の制約)。
残高がわかりやすい。	金融知識が必要。
多少なりとも「資産運用」というものに興味を持てたこと。	
投資への関心が結果として自分の	特に感じていないが、正しい理解を

老後の生活設計を考えるきっかけとなった点。	した上で、運用していくことが不可欠であると思われる。
「自分の将来は自分で考える！」という発想になる。	つい運用をせず、放置しがち。
	口座管理料を上回るだけの利息があるかどうか、今でも不安だ。
資産運用について学ぶ良い機会となった。	
	早期退職時、60歳まで受領できない。 手数料が高すぎる。
運用次第だが、従来以上の退職金が支給される点。	運用が面倒な点。
運用していることがよく見えないので、知らないうちに貯まっていると思うこと。	60歳未満で退職しても解約できないこと。
現在の額面がわかる点。	考えるのが面倒くさい。
	退職（自己都合）した場合、年金受け取りまで自己で運用しなければならない。
資産運用に関してリアリティを持たせたこと。	
	資産運用状況をまったく気にしていない。このアンケートが来て初めてウェブで状況を確認したが、目減りしていた。ウェブで時々見なくてはならないと気付いた。
社会の動きに関心が高まった。	退職金の内枠なので、将来の退職金受給が結果として目減りする可能性が否定できない。
老後の生活設計について意識が高まった。 経済情勢への関心が高まった。	
自助努力による投資結果がわかる点。	運用成績がマイナスになったこと。
資産形成に対して自助努力が必要	

<p>であり、知識が深まった。 この事をきっかけに、社会保障について勉強し始めた。</p>	
<p>生涯設計についての意識向上。</p>	
<p>経済・金融等理解する良い機会であった。 資産を自力で増やすことができる点良かった。</p>	
<p>今までは退職時でないとはわからない為ほとんど関心がなかったが、目に見えること、自助努力により増やせることなどで、関心を持てるようになったこと。</p>	<p>商品知識に乏しいが、のめり込みたくもないので、うまく運用できるか不安。また、変更の場合手数料がかかる為に、最初の選択から変更するのにちゅうちょしてしまう。</p>
<p>自分の裁量により運用が出来る 自分の年金額が分かる。</p>	
<p>年金制度がある程度理解できるようになった。</p>	<p>うまく運用できるかは不安がある。</p>
<p>経済状況への関心が高まった。 資産の増減に楽しみがある。</p>	
<p>資産確認が楽しい。 自己責任で運用できるのがよい。</p>	<p>自分の金融商品に対する知識のなさにあきれてしまう。</p>
<p>制度自体について勉強になった。 投資についても少し勉強になった。</p>	<p>退職金制度としてはポートビリティがあるようなないような。3年以上加入しても一時金払いが必要では。</p>
	<p>自己の責任の元でリスクもリターンも引き受けなくてはならないこと。</p>
<p>投資運用の体験と知識習得に役立つ。</p>	<p>損益が出ると非常に損した気分になり、運用を放棄して社員個人に責任転嫁した会社への憤りを感じる。 運用のためのウェブ・サイト閲覧や運用商品の研究時間などを社内で公式に認めるべき。</p>
<p>自分で運用できて楽しい。</p>	
<p>資産がゼロからのスタートであった</p>	

たので気軽にゲーム感覚で楽しめること。	
株式投資、資産運用 etc. に関する興味・理解が広がった。	
自分の資産形成、老後のプラン等につき、考える良い機会になった。	金融商品の知識が無いので勉強が必要なこと。
投資に関する関心、知識が高まった。	確定給付型に比べ手続きが煩雑で、リスクが高い。
自由に自分の将来の資産運用可能であること。上がったたり下がったり結果がタイムリーに確認出来、自己責任の意識が高まる。	
運用が自分でできかつ、変更がインターネットで容易にできる点	60歳まで中途引出しができない事。
自分の権利が明確。	中途引出しに制限多い。
投資・運用をしっかりと勉強できる機会があること。 自分の持ち分が確定すること（会社が倒産しても大丈夫）。	
退職後の生活資金の確保を真剣に考えるようになった。 自分の資産管理について自覚が生まれた。	60歳まで引出せないという制限がある。
老後資金形成の第一歩	
自らの退職金、老後に関心を持つようになった。	
少しでも増えているとうれしいが、“良かった”と言えるまではいかない。結局は制度変更前（DC 導入前）より、退職金がへる（と思うので）	
運用益が多く得られた。	
元本確保型にしておけば、会社が万が一の場合にも確実に現地点の退職金が確保できる。	確定給付型からの変更であったため老後に関する不安が増加。
多少金融市場に興味を持てた点。	

	申し込み時点と実際の開始時点のズレ。適確な情報源の不足。
自分の判断で運用商品が選択でき、 またリターンも個人の口座に貯まる。 自己責任で運用できる。	運用商品の選定に不満があった。拠出限度額が低すぎるので、もっと拠出できるように税制の優遇を考えてほしい。
元本確保。	
過去分を5年満期型にしたので、安定しているし、少しでも老後に貯えているという安心感がある。	会社を辞めた時手数料を自分で払っていかないといけない。もっと自由に引き出せる仕組みになってほしい。
	利回りがマイナスとなる場合がある。
自然に増えている感がする。	
日本経済や世界経済等により興味を持つようになった。	
運用が良ければ、受給額が増える点。	退職時に一時金化できない点。
年金が目に見える形となったこと。	住宅ローンの返済などに退職金を充てることが出来なくなったこと。
実金額がわかり、やるべき事がわかる。	法律が改善されない事（厚労省・国税） 記録関連機関、金融機関が顧客中心に方向転換しないこと。
自分のライフプランを考えるきっかけになった。	将来の生活に対する不安が増した。
	年令が58歳時に加入となったことから期間が3年未満であるのに払い戻しが出来ず、2年間も凍結されるのはどうか（小額なのに）。
資産運用について若干なりとも関心が高まった点。	
DC制度がどういうものか知ることができた。	不景気なので運用の利回りがよくない（あまり増えない）。
資産形成に個人の意思が反映される。	

当社の DC は退職金の一部移行であるが、リスクがあるものの自己の責任で退職金をふやすチャンスがあること。	55歳入社で退職金額も少なく年金として受け取るメリットは全くない。 税金を考慮して加入したものの、63歳まで一時金を受け取れず極めて不満である。
	退職時に引き出せないなど、ライフプランの変更に対して硬直的になった。
自分の責任において運用できること。	ゆっくりと運用商品を考えたり、情報をとったりする時間がなくめんどう。
会社負担の資金で将来の貯えができる。自分の裁量である程度資金を増やす事ができる。	定年前に退職した場合は不都合な事があるかもしれない。
今まで企業年金制度がなかったので、企業として加入しやすいものであれば 401k 型でもよいと思う。	但し、自己責任、自助努力の部分は、まだまだなじみが薄い分運用するという技術に欠ける部分がある。
将来が楽しみ。	限度額をもっと拡大してほしい。
将来生活の資金確保	
自分の資産が今後どうなるのかが分かること。	
	拠出した金額より下回ってしまった事。
年金について考えさせられる機会が得られた。	退職金の減額。
	確定拠出年金に加入前に説明をもっとしてほしい。今後、どのようになら行くのか不安。
	株が下がったりした場合、とても不安になる。
現時点の年金額が把握できること、将来得するか損するかは別として年金額に対して期待ができる。	運用商品、区分変更などが自由にできるにもかかわらず活用できていない。もっと活用できるようになればと思う。
初めてでよく解らないが将来の年	

金受取予測が出来るのが良いのではないかと思う。	
将来転職する際の不利益が少ない。 財産のポートフォリオ配分が多様化した。	
	上手に運用できる自信が全くない。
税制の面で優遇が受けられる。 投資を自分で行うことができる。	
資金運用を自己で選択できること。	運用に対する知識不足から将来的にいくら年金が支給されるのか判断できない点。
投資に多少なりとも関心をもつようになったこと。	
累計掛金額をリアルタイムに確認可能な点。	
今まで企業がかけてくれていた年金について理解することができた。	会社を早期に退職する場合は全くメリットが感じられない（特に女性）。
経済に対して興味をもてるようになった。	知識がないため運用商品の選択に不安がある。
退職金の前受け（確保）	制度の煩雑さ、一時金化
	リスクを少なくするため予定利率変動型確定拠出年金保険の割合を多くしたが、一番足をひっぱっていて、がっかりしている。
どのような物か理解できた点。	
関心をもつようになった。	少々減ってしまった。
自分の年金の額の推移がわかる。	資産運用にあまり興味が無い為、うまい運用方法がわからない。
自己の年金資産がいくらか良くわかる。	60歳時点の額が確定していない。
加入してみないと興味すら持たず、年金制度について今以上に理解が進んでいなかったと思われること。	一度加入してみて、制度の性格が自分に合わないと思ったところで、解約条件がなんと退職！ 自己責任での運用などときれい事を押しつけられても、頻繁に運用を

	考える程暇はない。
自分で運用プランが出来る。自分で作るチェックする楽しみがある。	商品によってはリスクがありやや不安。退職後の一時給付に充当できず。
定年後のライフプランについて、考える機会を得た。 現時点の確実な年金の確保と情報が随時確認できる。	
現状、特にメリットは感じていないが、上述のとおり加入は当然と受け止めている。	
本人拠出が不要な点。	資産管理が面倒。
経済関連ニュースについて敏感になった。	
株や債券などに興味を持つようになった。	
自分でいろいろと選ぶことができる。	現在いくらかを調べないとわからない。随時連絡がこればいいなと思う。
金融商品について興味がわいた。より詳しく理解し、検討するようになった。	不確定要素が多いため、自己責任での運用とはいいながら、不安がある。
	掛金と年齢から考えると、あまり期待できないので、期待していない。よって良くも悪くも思っていない。
自身に拠出額が支給されている実感が持てる点。 会社の制度を利用して投資信託を運用する機会ができた点。	
自己判断で運用できる事。運用実績が明確な事。	市場が低迷しており、運用のチャンスが無い事。
転職しても継続できる事。	
世の中の経済に対して、以前より興味深く見ることができるようになった（逆に言うと、世間の常識知らなすぎたとも言える）。	十分に理解していなかった為、最初の投資で「損をした」感覚になった。

個人での運用が面白いと思えたこと。 投資信託等の知識が身についたこと。	これまで以上に年金に対して敏感にならなければならないこと。
株式やファンド商品など今まで全く知らなかったことが勉強になり、また、興味を持つことができた。	資産管理の費用で100円/月控除されていますが、この分を金利や配当でカバー出来ない。実際目減りしていること。
必ず退職金を頂ける安心感。	退職金を活かした転職等の行動ができないこと。
会社が倒産しても、自分で運用できる。	60歳にならないと、もらうことができない。
自分のライフプランに合わせて、ハイリスク、ローリスクを考えた運用が出来る。	途中引き出しが出来ない為、必要な時に、自分の資産なのに使う事が出来ない。
これまでの年金制度に比べて将来の見通しをたてやすい。	
企業型に加入しているので、手数料を自己負担する事がない。	ほとんどのケースで、脱退できない。
ウェブ上で自分の資産（給付額）がわかる点。	
掛金を全額会社が負担してくれている。	
	拠出金が少ない。 中途引出し出来ない。
強いて言えば、経済に関して興味を持つキッカケになる。	説明会で話して頂いたこと。面倒が増えた。不満・不安感。